

2023年10月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 10月えんだより

10月の聖句「羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。」

ヨハネによる福音書 10章 16節

日中の暑さはまだまだ残っていますが、朝夕は随分しのぎやすくなってきました。田んぼの稲穂も重たげに頭を垂れ、畦には色鮮やかな彼岸花も咲き誇っています。我が家の家の前の山では、栗や柿が実っています。日本らしいこの秋の風景が見られる期間が少しずつ短くなっているように感じられますが、子どもたちと共に、この実りの秋を楽しく過ごしたいと思います。

テレビでいじめに関する報道を目にしました。フランスでは学校でのいじめを『犯罪』とする法律が施行され、禁固刑や罰金刑が課されるというもので、教室に警察が入り、いじめをした生徒が他の生徒たちの前で逮捕されたというもの。また、韓国では、いじめ（学校暴力）に対して1から9号までの処分があり、進学や就職にまで影響するといったものでした。確かに一定の抑止効果はあるかもしれませんが、これで本当にいじめが無くなるのでしょうか。いじめ自殺のあったある学校の教頭先生が『加害者にも未来がある』と発言したことに対して批判が集中したことがあったそうです。マスクミをはじめ多くの人がこの教頭先生を批判、攻撃する行為も一種のいじめのように感じてしまいます。勿論、一人の人間の命を奪ってしまった『いじめ』という行為は赦されるものではありませんが、この教頭先生が精神的に追い詰められてしまうかもしれないということに思いは至らないのでしょうか。自分が加害者側となってしまうかもしれないということにも思いは至らないのでしょうか。

今なお、地上のいたるところで起こっている傷害や殺人といった痛ましい犯罪から、民族や国家間で争う紛争や戦争によって多くの人々が深い悲しみの中に追い込まれています。このような犯罪や争いの根っこには、お互いを、また自分自身を愛することができなくなってしまった人々の存在があるように思います。そして、愛することができなくなってしまったのは、一人一人のこれまでの歩みの中で無条件に受け入れられ、愛される事から遠ざかってきた（遠ざけられてきた）からのように思います。

こども園での毎日の生活の中で、子どもたち、保育者、保護者の皆さんと共に、イエス様に導かれる「羊」として、神様のおおらかな愛に耳を澄まし、互いに愛し合い、信じあうことを求め、広める群れとなって歩み続けることができるように願っています

10月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	やってみよう	ふれあう
月の願い	*季節の移り変わりを感じ、身近な自然に触れてあそぶ中で「たのしいな」「やってみよう」と心と体を動かすことを楽しんでほしいと思います。	*身近な秋を感じながら、友だちと一緒にあそぶ中で、様々な思いに気づき、触れ合う喜びをたくさん感じながら過ごしてほしいと思います。
讃美歌	「ちから」 幼児讃美歌Ⅱ15	「わたしたちのたべるもの」 こども改102